

平成 15 年度農林水産技術会議事務局予算概算要求の概要

(単位：百万円)

区 分	14年度 予算額	15年度 要求・要望額
農林水産科学技術振興費	112,149	145,405
農林水産技術会議分	89,107	117,437
1. 食の安全と安心を確保するための研究開発		
(1) 食品の安全性に関する研究	82	1,347
(2) 牛海綿状脳症(BSE)制圧のための技術開発	0	1,545
(3) ゲノム情報・技術活用による先端的研究の推進		
植物(イネ)・動物ゲノム研究	5,863	10,732
21世紀最大の未利用資源活用のための「昆虫テクノロジー」研究	233	3,112
(4) 新鮮でおいしい「ブランド・ニッポン」農産物提供のための総合研究	2,056	3,922
2. 農業の構造改革を加速化するための研究開発の促進		
(1) 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業	1,808	3,863
(2) 産学官のコーディネート活動、生物系産業技術研究の支援強化	0	3,392

区 分	14年度 予算額	15年度 要求・要望額
3．都市と農山漁村の共生・対流のための研究開発の促進 (1) 農林水産バイオリサイクル研究の推進 (2) 地球温暖化が農林水産業に与える影響の評価及び対策技術の開発 (3) 農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発	 600 399 0	 1,464 799 1,400

平成 15 年度農林水産技術会議事務局予算概算要求の重点事項

〔基本的考え方〕

「食の安全と安心の確保」、「農業の構造改革の加速化」、「都市と農村の共生・対流」を軸とした骨太の研究開発プロジェクトを展開するとともに、経済活性化に直結する実用化技術の開発を促進。

〔重点事項の説明〕

第1 食の安全と安心を確保するための研究開発の促進

百万円

(1) 食品の安全性に関する研究 1,347 (82)

食品の表示項目を科学的に検証するための研究開発、食品の安全性にかかる分析・検出技術の高度化・迅速化、リスク低減化技術の開発等を厚生労働省等との連携のもとに実施。

(2) 牛海綿状脳症 (B S E) 制圧のための技術開発 1,545 (0)

B S E について、プリオン蛋白質の性状解明、診断技術の開発、環境中の異常プリオン蛋白質の不活性化技術の開発等を厚生労働省、海外の研究機関等との連携のもとに実施。

(3) ゲノム情報・技術活用による先端的研究の推進

植物 (イネ) ・動物ゲノム研究 10,732 (5,863)

イネゲノムについて、主要部分の塩基配列解読の完了を受け、重要形質に着目した機能解明、ゲノムの種間・属間比較研究等を実施するとともに、ゲノムデータと研究成果を結集するゲノムリソースセンターを整備。

また、動物ゲノムについて、DNA マーカーを用いた高品質育種を促進。

21 世紀最大の未利用資源活用のための「昆虫テクノロジー」研究

3,112 (233)

化学合成できない生体高分子、有用タンパク質を生産する昆虫の機能を活用するため、有用タンパク質の生産工程 (昆虫工場) の確立、昆虫のタンパク質の立体構造解析による農業用「ゲノム創薬」の開発、昆虫由来の新素材の開発を推進。

(4)新鮮でおいしい「ブランド・ニッポン」農産物提供のための総合研究

3,922(2,056)

消費者等の参画による技術開発戦略委員会を設置し、「ブランド・ニッポン」農産物の確立のための研究方向の明確化を図るとともに、これを踏まえて高品質、安全・安心等消費ニーズを実現するための新品種及びこれらの特性を發揮させる栽培技術を開発。

第2 農業の構造改革を加速化するための研究開発の促進

科学技術基本計画、経済活性化戦略で重視されている競争的資金の活用により、産学官連携による革新的技術の開発を促進。

(1)先端技術を活用した農林水産研究高度化事業 3,863(1,808)

地域の農林水産業・食品産業等の活性化を図るため、地域の研究開発に係る企画から実施までのシステムを改革し、新たに生産者自らの参加による現場のアイデアを活用した研究開発、食品企業等の参画の下に行う地域の特色を活かした農林水産物の生産、加工技術の開発等を推進。

(2)産学官のコーディネート活動、生物系産業技術研究の支援強化

3,392(0)

産学官連携強化のための人的交流、情報交換等の活動を強化するとともに、若手研究者の独創的な着想に基づくきらりと光る研究や、異なる分野の研究者の参画による生物系産業技術の実用化研究等に対する支援により、新産業創出・企業化を促進。

第3 都市と農山漁村の共生・対流のための研究開発の促進

(1)農林水産バイオリサイクル研究の推進 1,464(600)

家畜排せつ物、食品加工残さ等の革新的な循環利用技術の開発、再生可能な作物資源由来の工業原材料の生産技術の開発を行うとともに、新たに地域におけるバイオマス利用を推進していくためのシステム化技術開発に係る研究を推進。

(2)地球温暖化が農林水産業に与える影響の評価及び対策技術の開発

799(399)

「地球温暖化対策推進大綱」に対応していくため、農林水産分野における温室効果ガスのモニタリング、地球温暖化が農業、森林、漁業へ与える影響の評価・予測技術、温室効果ガスの排出削減技術等を開発するとともに、有機性資源を用いた化石燃料代替エネルギー生産技術の開発を加速化。

(3) 農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発

1,400 (0)

農林水産生態系における有害化学物質（カドミウム、ダイオキシン等）について、その動態の把握、生物、生態系への影響評価を行うとともに、分解・無毒化技術の実証研究等を通じたリスク低減技術を開発。